

沿海地域にある福州市の地方行政改革

はじめに

一国の地方制度は、その国の国情に合わせて、国情にふさわしい地方制度をとるべきであり、外国の経験をそのまま適用してはならないが、現在の国際的な地方制度の発展情勢も認識しなければならない。地方制度は、基本的には地域社会に密着し、各国それぞれの歴史と伝統に基づく独自かつ特有の制度として形成されているが、他方、国際間の正しい理解と協調、協力を促進していくことも非常に重要なことになっている。情報伝達手段の発展、国際交流の進展により、地方政府に関する改革の成果が他の国において活用される事例も珍しいことではない。福州市も地方行政改革を検討するとき、他国の良い改革成果を参考にし、比較研究を通して地方行政制度を一層完全なものにするべきである。

中央政府の行政管理体制改革を受け、福州市も5回にわたり行政改革を行ってきた。行政体制改革及び行政の内容の全面的な見直しを行い、行政全般にわたる改革を断行する。内外情勢の変化に伴って従来の改革方法ではもう問題を解決しきれず、行政改革は新たな方途、新たな視点が求められている。行政を改善し行政の市民に対するサービスの向上を図るため、行政の実態に全般的な検討を加え、行政制度及び行政運営の改善に関する基本事項を調査診断する。行政の近代化を求め、総合調整、行政の過度の膨張の抑制と企画事務と実施事務の分離、定員削減計画の実施、企業運営原理の導入などのような行政運営の合理化、効率化、新しい行政需要への対応等を策定し、さらに行政事務の配分、許認可、行政機構の統廃合、行政の手続きなどを策定する必要がある。

第1節 福州市の概況

第1項 歴史と自然環境



(出所：中国地図網)

福州市（ふくしゅうし）は、中華人民共和国福建省の省都である。榕城（ようじょう）とも称される歴史の古い町で、国家歴史文化名城に指定されている。明清代には琉球館が設置され、琉球王国との交易指定港であった。新石器時代からこの地に住む閩人の領域で、戦国時代中期に越が楚に滅ぼされ、越人が多く閩地に流入し、閩越と呼ばれるようになった。紀元前 220 年閩越を征服した秦始皇帝はこの地に閩中郡を設置した。秦末、群雄が割拠すると、閩越王無諸が反乱を起こし、後に劉邦に属した。このため、無諸は漢によって閩越王に封じられ、東冶（福州の古名）はその都となった。

晋代には建安郡の郡城となり、唐代の 725 年福州都督府が設置されて、福州の名が固まった。唐末には王審知が閩国を建国して、福州に都した。五代十国のひとつである。この国は海外貿易などで大いに発展し、王延鈞の代には大閩国と号し、福州を長楽府と改称した。宋代には福州に復し、刺史が置かれた。元代に福建行中書省が設置され、最初は泉州、まもなく福州に長官が駐在した。

明代には福州に市舶司が置かれ、朝貢国である琉球王国の指定入港地となり、琉球館が置かれている。明末には南明の都が置かれたこともある。明清時代には福州は福州府治として福建の中心であった。アヘン戦争後の南京条約で福州は対外開港し、茶の輸出などで発展した。倉山区には多くの外国領事館が置かれた。近代の福州は中国海軍や近代造船業の発祥地であり、清仏戦争ではフランス海軍の攻撃を受けた。

福州は、山々に囲まれる盆地の中央に位置し、閩江、烏龍江が縦横し東海に向かって流れ込んでいる。それは三山が鼎立し、一水が流れるという理想的な景観を形成して、山を枕に海を臨み河が流れ行くという、まさに「江南水郷」の風景を成している。長江デルタ

地域と珠江デルタ地域との二大経済圏の中間点にあり、同時に二大経済圏へとビジネスの幅が広がる。加えて台湾海峡経済圏の西部、対台湾貿易の最前線に位置して多角的な経営戦略が可能である。その地理的優位性を活用して、水運、高速道路、鉄道、空運に到る交通インフラを充実させ、産業の集積を図り、魅力のある投資先となっている。福州の物産は豊富で、昔から「福海宝地」と呼ばれてきた。海域は110km²を誇り、海岸線が1,137 kmに達し、そのなかに大陸海岸線が800 kmで、企画された港の海岸線57.6 kmである。2007年末まで、全港で累計で貨物船用の停泊位置134個、建設された千トン級以上の貨物船用の停泊位置75個、中では万トン級以上の大水深停泊位置25個、最大5万トン級のコンテナ船が停泊できる。羅源湾、福清湾は全国において有数の水深を誇る天然良港で、沿岸の干潟面積は省全体の31%を占めており、風エネルギー、潮エネルギーの開発潜在力も大いに期待できる。福州は全国三大温泉地区の一つで、年間温泉の供給量は300万トンに達している。



(出所：福州市外商投資ガイド)

福州市の風景

第2項 投資環境

福州市は1984年に對外開放地区に指定され、その後經濟開發区にも指定されている。2007年福州市の年間國民經濟と社会發展の主な指標：

- ▲全市の国内總生産高 1,974.58 億元、前年同期比 9.8%増；
- ▲全市財政收入 247.56 億元、前年同期比 16.6%増；
- ▲全市社会消費財小売總額 940.99 億元、前年同期比 16.9%増；
- ▲全市輸出入貿易額 186.41 億ドル、前年同期比 16.51%増。

主な輸出製品は電子、機械、服装靴、紡績、輕工業製品、食品、金属製品、工芸品など十二項目である。

福州市政府は、外国投資に関する投資環境のハード面とソフト面の改善を重視し、外資系企業に対しより良いサービスの提供に力を入れている。外資系企業の設立運営の手続きに関連する政府部門を1つの事務センターに集中させたり（ワンストップ・サービス）、外国人を対象とするサービスセンター（投資、生活に係る各種サービスを提供）を開設してきた。また、関連の政府部門では週に1回協議会を開き、外資系企業に係る重要問題の解決策を検討するとともに、毎月外資系企業の意見聴取を目的とした「開放日」制度が設けられ、市長をはじめ政府幹部が出席し、意見交換を行っている。

福州は中国14沿岸開放都市の一つで、開発区、保税區、ハイテク産業開発区、台商投資区、ソフト団地、海峡農業実験区、B型物流団地、輸出加工区、対台湾直航（海上と空港）などの多岐にわたる政策を取っている。中国において外資系企業の立地が最も集中している都市の一つで、2007年末の累計で外資系企業は8429社、外資利用契約金額が239.32億ドル、実際投資金額が140.72億ドルに上る。福州は工業経済が主導的役割を果たしている業種の台頭が目立ち、特に電子情報技術産業、自動車・機械、紡績、靴製造業への集中度が高い。またハイテク産業の生産高は市全体工業生産高に占める比重はすでに30%に達している。電子情報技術、自動車及び部品製造、紡績、冶金、プラスチックなどの産業群は先行してその規模を整えており、福清、馬尾に電子産業団地、青口に自動車産業団地、長楽に紡績産業団地などの突出した産業団地のほか、金山、ソフト団地、江陰、長楽、羅源湾などの新興工業地域の発展も目覚ましいものがある。

福州が所管する長楽市に福州長楽国際空港があり、福州市内からは空港高速道路を経由して45キロメートルを約1時間で行ける。123路線が運航している。日本とは2007年9月10日から、深圳航空が関西と深圳の経由地として結んでいる。週3便である。国際線は、大阪、バンコク、シンガポール、クアラ・ Lumpur、ペナン、香港、マカオに運航している。

第3項 国際化都市を目指す

福州市は、世界の8都市と友好都市関係を、1都市と友好交流関係を結んでいる。
友好都市関係を結んだ都市：

長崎市（日本・長崎県、1980年10月20日締結）

那覇市（日本・沖縄県、1981年5月20日締結）

シラキウス（アメリカ、1991年8月25日締結）

タコマ（アメリカ、1994年11月16日締結）

カンピーナス（ブラジル、1996年11月8日締結）

ショールヘイブン（Shoalhaven）（オーストラリア、2003年10月15日締結）

ジョージタウン（ガイアナ、2006年5月17日締結）

コシャリン（ポーランド、2007年5月19日締結）

友好交流関係を結んだ都市：

平沢市（韓国、2002年8月26日締結）

また、福州は世界各地に広がる華僑のネットワークを持っており、300万人の福州出身

の華僑が世界中 90 以上の国と地域に居住している。台湾と海峡を隔てて隣接するために、福州は海峡兩岸の経済貿易の中心となっている。2007 年末まで、福州に立地する台資企業は累計で 2,000 社に達した。

世界トップ 500 企業のうち、下記の通り 52 社が福州に投資し、または代表処を設立した。

ウォルマート、IBM 社、HP 社、コンパック社、モトローラ社、UPS 宅急便、エマーソン社、ペプシコーラ、サラリー〈食品〉、マクドナルド社、三菱商事、JVC、NKK、ヤマハ、三井、伊藤忠商事、住友商事、丸紅、日立、松下電器、本田、東芝、富士通、NEC、ニチメン、リコー、エプソン、BP 石油、B&Q 社、OBI 社、シーメンス、メトロ、フランスのサンゴバン社、カールフル、仏アルカテルアルストン社、ネスル社、ノキア社、SK、LG 電子、サムソン電子など。

毎年 5 月 18 日に、福州市において「海峡两岸经贸交易会¹」を開催される。この交易会は、中国本土で開催される两岸经济贸易展の中でも最大規模のもの 1 つで、台湾との協力、经济贸易交流の強化を主な目的として、開催されているものである。この交易会を通して、福州市と台湾、世界各国との経済発展をさらに加速化させようとするねらいもある。

第 2 節 福州市の行政改革における課題

第 1 項 福州市の行政区画

福州は中国東南沿岸に位置し、五つの区、二つの市、六つの県を直轄している。総面積 1.2 万 k m^2 （市区面積 1043 k m^2 ）、総人口 680 万人（市内居住人口 250 万人）。

市轄区：鼓楼区、台江区、倉山区、馬尾区、晋安区

県級市：福清市、長楽市

県：閩侯県、閩清県、永泰県、連江県、羅源県、平潭県、

¹ 「两岸」とは中国本土と台湾を指している



(出所：福州市のホームページ)

行政機構・定員については、膨脹を抑制しつつ、行政需要の変化に対応した効率的な業務処理体制を確保することが必要である。日本政府は、累次にわたる定員合理化計画の実施や機構・定員の審査を通じ、簡素で効率的な行政組織づくり、定員配置の適正化を図っている。「行政改革推進法⁷」等において国家公務員（郵政公社職員を除く 68.4 万人）を平成 18 年度からの 5 年間で 5 % 以上純減する。地方公務員の総数が平成 17 年度から 5 年間で 4.6 % 以上純減させたものとなるよう、地方公共団体に職員数の厳格な管理を要請し、協力する。国の行政機関の定員 (33.2 万人) を平成 18 年度からの 5 年間で 5 % 以上純減。その実現のため、国の事務及び事業に関し合理化及び効率化のための措置を講ずる⁸。

福州市は、社会経済情勢の変化等を踏まえ、対応すべき行政需要の範囲、施策の内容及び手法を改めて見直ししながら適正化に取り組む。とりわけ、抜本的な事務・事業の整理、組織の合理化、職員の適正配置に努めるとともに、積極的な民間委託等の推進、地域協働の取組などを通じて、職員数の抑制に取り組むべきである。事務・事業の抜本的な見直しを計画的に行うとともに、適正な組織体制・人事配置となるよう、積極的・計画的な組織の合理化、一層の定員管理の適正化に努めることである。膨張した行政を基本から見直し、新しい時代に適した体制の整備を図る必要がある。そのため行政が真に責任を持つべき分野を的確に見極め、国・地方を通じる行財政の簡素効率化を図るべきである。日本の経験

⁷平成 18 年 6 月 2 日閣議決定：「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」

⁸ 同上、法第 43 条 ～第 50 条

を参考にして具体的な行政機構・定員については、

- 1、行政改革の理念と行政改革の中長期ビジョンの確立（科学的な政策決定）
- 2、経済の高度成長に拡大した行政の合理性と責任領域の見直し（権利と責任の一致）
- 3、新たな時代に即応するための行政の基本的諸制度の改善（情報公開制度などの確立）
- 4、基本的な課題を抱え、総合的視点から見直しを要する分野の行政の再編合理化（合理的な分業）

などを考慮しなければならない。定員合理化計画を立てて着実に実施するとともに、増員を厳しく限定する「厳格な定員管理」を行うべきである。

第3項 行政の公正の確保と透明性の向上

福州市の政府機関は、早くから公開かつ公正で公平な法的環境を作ることに努め、知的財産権を守り、投資者の法にかなう権利と利益を保護することに努力している。それによって仕事がオープン化し、効率が高められて、効率の高い政府機関の運営システムができあがった。しかし、市民とのパートナーシップを基調として高度成長にふさわしい市政を推進するには、市民に信頼される、より一層公正、透明な行政運営が求められる。

このため、行政手続の公正の確保をはじめ、情報公開制度の充実、市政情報の積極的な提供など市民との十分なコミュニケーションに努めるとともに、外部監査を含めた監査機能の充実強化に取り組む必要がある。住民等への説明責任を果たし、福州市人民代表大会や住民等の監視のもとに公正の確保と透明性の向上を図ることが一層必要である。

1 行政手続の公正の確保

福州市では、行政手続法や行政手続条例に基づいて、許認可に際しての審査基準や標準処理期間を設定し、公表するなど、ルールに基づいた行政の推進に努めてきた。今後とも、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、市政に対する信頼性を高めるとともに、市民の権利利益を保護するため、法や条例の趣旨について一層の周知徹底を図り、併せて適正な運用に努める必要がある。公正で効率的な業務運営を図っていくためには、法令の執行に当たって、極力、執行者の恣意的な意図が反映されないための諸手続が定められるべきであり、これら関連例規の不備が、現在の行政のあり方を不透明なものにしている。

2 情報公開の推進

福州市ではこれまでから、情報公開制度の適正な運用に努めてきた。市政に対する市民の関心が高まる中で、市民に対する行政の説明責任を果たす観点から、実施機関や開示する情報の範囲の見直しなど、情報公開をさらに推進する必要がある。また、公社・事業団等外郭団体のうち、市が一定の出資等を行っている団体についても、市と同様に情報公開を行うよう制度化を検討すべきである。

3 政策形成過程等への民意の反映と公正・透明性の確保

福州市の政策がどのような経過の中で決定されるのかは市民にとって関心の深いところである。市民主役の行政を進める上で、政策形成に当たって市民の意見を反映し、その

過程の公正性、透明性を確保するため、市民提案制度やパブリック・コメント制度を導入するとともに、審議会等の会議や議事録については公開を原則とするよう、検討すべきである。

4 広報・広聴機能の充実と政策形成機能との適切な連携

福州市では、広報紙「福州日報」、「福州晩報」をはじめ、テレビ、ラジオなど様々なメディアを通じて市政情報の提供に努めている。市民が市政をより身近に感じ、主体的に市政に参画していく上で、これまで以上に、市民が求める市政情報を分かりやすく、タイムリーに提供するなど、行政活動の積極的なPRに努める必要がある。

また、様々な方法、媒体によって、あるいは日常の施策の実施過程を通じて、市民ニーズを的確に把握するとともに、それを新たな政策形成等に反映させていくための仕組みを改善するなど、広聴機能の充実強化と政策形成機能との適切な連携が求められる。

5 監査機能の充実強化

行政活動に対するチェック機能の充実強化を図るため、設けられた外部監査制度の効果的な運用に努めるとともに、現行の監査制度についてもさらに充実していく必要がある。情報公開条例や行政手続条例の制定、パブリックコメント手続制度の積極的な活用などを行うとともに、外部監査制度の有効活用、福州市人民代表大会における政策審議の充実などによって、福州市人民代表大会や監査委員などによる監視機能の強化に積極的に取り組む必要がある。

第4項 市民サービスの向上

市民の視点に立った行政を展開するという観点からは、サービスがより利用しやすく、また、申請や届出の手続きが簡素化され迅速に処理されるよう改善されることが望まれる。特に、普及が著しい高度情報基盤の活用によって、事務処理が効率化・迅速化され、市民の利便性がさらに高まる可能性も広がってきている。

このため、予算の効率性を考慮しながら、市民サービスの向上をめざして、積極的に取り組む必要がある。具体的には、

1 窓口サービスの改善

市民にとって窓口サービスが利用しやすくなるよう、特に平日の夜間や休日における需要が高いと見込まれるものについて、市民ニーズを的確に把握した上で、窓口の時間延長や休日開設について検討を求めたい。

また、窓口におけるさわやかな応接の徹底、縦割り主義的な対応の是正、服装や執務態度の品位保持など、職員の応対の改善に一層努める必要がある。さらに、規制緩和や権限の委譲など、その内容や処理手続きを見直し、できる限り申請書類等の簡素化や処理日数の短縮が図られるよう努める。

2 高度情報通信基盤を活用したサービスの向上

事務事業の効率化を図るとともに、情報の共有化による意思決定の迅速化や行政運営の高度化が期待される場所であり、パソコン配備の充実、高度利用のためのソフト整備などに取り組んでいく必要があると思われる。

また、インターネットの急速な普及に伴い、市政情報や統計情報等の迅速な提供や、双方向性に着目した市民意識の把握等、新たな形態での市民とのコミュニケーションが可能になったことから、その積極的な活用について検討すべきである。

さらに、申請・届出等の手続きの電子化・オンライン化や一部民間企業において実用化されている電子決裁等については、今後、安全性や信頼性、個人情報の保護等の対策を十分に講じつつ、導入に向けて検討していく必要がある。

第5項 腐敗反対・廉潔唱導

第1章で述べたように、腐敗反対は、ずっとここ数年の「兩大会」⁹のホットな話題であり、中国は、現在腐敗が継続し、多発する時期にある。ここ数年100人以上の省・部クラスの高官が処罰された。新華ネットと人民ネットの2007年の「兩大会」のホットな話題についての調査揭示の上に、「腐敗反対・清廉潔白提唱」が第1位に置かれている。

1 腐敗の本質は、公権力の濫用である。

権力が濫用されないことを確保しなければならない。公権力の濫用問題の発生は、個人の資質の問題であるが、制度の不備と権力に対する監督規制が欠乏していることとも直接関係している。改革を深化させ、制度を健全化し、反腐敗・廉潔唱導活動に力を入れ、根本から権力濫用問題を解決するべきである。

2 重点を際立たせ、商業上の賄賂を処分する専門工作をしっかりと展開する。

3 制度を健全化させ、腐敗を根源から予防・処置する。

制度があっても、カギは実行されることにあり、制度の執行をしっかりと確保しなければならない。

4 民主を発揚し、権力行使への監督を強化する。

権力行使について、有効な監督・規制が欠乏していると、必然的に腐敗に至る。各クラスの政府は人民代表大会の監督・政治協商委員会の民主監督を受け入れなければならない。社会的監督（市民・世論・メディア）を強化し、各クラスの会計検査・監察は、職務に忠実でなければならない。

5 政務公開を推進し、市民が事をなし監督を行う便宜に資するようにする。

市民が関心をもつ事項、腐敗が発生しやすい領域を政務公開の重点とする。学校、病院、水道、電力、熱供給、ガス、環境保全、公共交通等の市民の利益と密接に関わる公共部門・単位は、全面的に事務公開制度を推進しなければならない。

第3節 政策提言

2008年の中国行政改革は、政府機能の転換¹⁰を軸に、サービス型政府・責任政府・法治

⁹全国人民代表大会と全国政治協商委員会を指す。

¹⁰地方政府及びその部門は、依然多くの管理すべきでないもの、管理できないもの、管理がうまくいかないものを管理している。行政許可が依然多すぎ、政府・企業の未分離問題が比較的際立っている。一部の地方政府・部門は、直接に企業のミクロ経済活動に干渉し、甚だしきは企業に替わって投資を勧誘し、投資の政策決定を行っている。一部の政府

政府・廉潔政府の整備に努め、権力制約の原則に則って政策決定権、執行権と監督権の相互制約・協調メカニズムの形成に取り組むことになるが、こうしたことは社会主義の民主を充実させるうえで極めて大きな意義を持つ。今回の地方政府機構改革は、国务院機構改革との整合性に留意するとともに、地方の実情を十分に考慮し、政策の指導性と実行可能性を重視して、地方自ら革新を模索する余地を残すものとなっている。各地での改革推進の実践からみて、新たな地方政府改革は（１）政府機能転換の加速、（２）大部門体制¹¹の模索・実行の強化、（３）管理体制の一層の改善検討、の３本の柱からなる。

今後の政府・公共部門のあり方と福州市の行政改革への提案として、次のように提言している。

第１項 新時代に対応できる簡素で効率的な行政

１ 定員管理の適正化

第１章で述べたように、行政改革に係る未解決の課題の一つとして既存の政府機構が重複肥大化し、公務員が過剰という現象が深刻である。これは、文書主義と官僚主義を助長するばかりではなく、汚職や不正の気風を助長し、国家・地方財政に大きな負担をかけている。過剰人員の状態について、数回の行政改革により一時的に職員数は減少するものの数年後には再び元の水準に戻ってしまうという悪循環を繰り返していた。日本では、行政組織運営全般について、計画策定（Plan）→実施（Do）→検証（Check）→見直し（Action）のサイクルに基づき不断の点検を行いつつ、行革指針を踏まえ、新たな行政改革大綱等の策定又は従来の行政改革大綱の見直しを行うことである¹²。これを参考にして福州市の地方行政改革において、行政機構の面における社会経済の構造変化と行政需要の変遷に機動的に即応した行政機構の再編成の推進、またそのための行政機構の業績達成度および機能有効性の定期点検制度の導入、各行政組織内部における組織編制、定員管理、また計画、監督など管理機能の強化、組織編制の弾力化などを指摘しなければならない。

長期的な視点に立った定員適正化計画を策定し、適正な定員管理の推進に努める。目標としては、行政改革期間中においては、現行の総職員定数を超えないこととする。

２ 組織・機構の再構築

事務の重複、不整合を整理し、新たな社会環境に柔軟に対応できる組織体制の整備を図る。行政目的の類似性、同質性に応じた大きな枠組みを行うことにより、簡素で市民に分かりやすい組織づくりを目指すとともに、組織の機能性、機動性の確保に努め、事務事業を効果的・効率的に遂行できる組織の再構築を行う。

３ 効果的・効率的な事務事業の展開

部門は権力に責任が伴わず、権力があるのに責任がない。問題が発生しても誰も責任をとらない。政府が管理すべき事柄が管理されず、管理がうまく行われていないために、市場の監督管理・社会の監督管理のシステムが不健全で、公共サービスが比較的薄弱であることを指す。

¹¹大括り省

¹² 総務省（平成 17 年 3 月 29 日）「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」第 1 計画的な行政改革の推進と説明責任の確保

社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズ、新たな行政課題に的確に対応していくため、緊急性、優先性、効率性等を勘定しながら、効果的・効率的な事務事業を展開する。行政評価システムを導入し、市の政策・施策や事務事業について計画を立てて実行し、その成果を評価して、次の計画に反映させるというマネジメント・サイクルを確立することにより、市政運営における行政資源の効果的な配分を図る。また、評価結果を公表することにより、行政の透明性の向上を図り、市民参画の市政を推進する。

4 事務事業等の見直し

事務事業等について、新たな時代の変化に伴う市民ニーズに柔軟に対応するため積極的な取り組みを行う。また、既存の事務事業については、効果や効率性の観点から、所期の目的を達成した事業等の廃止・縮小や類似する事業を統合するなどの見直しを行う。

5 公共施設の適正配置及び管理運営の合理化

公共施設の新設については、その機能・役割分担を明確にし、運営方法や維持管理経費、周辺施設の状況を勘案して適正な配置を図る。管理運営については、市民サービスの向上と運営効率化に留意し、委託化を推進する。

第2項 市民に開かれた信頼される行政

昨今、地方政府において、資金の不適正な扱い、工事発注を巡る不祥事、食品安全事故など不祥事件が相次いでおり、国民・住民の地方行政に対する信頼を大きく揺るがしている。一部の地方・部門では、2つの際立った問題が存在する。

a 命令が滞り、執行に力が入っていない。

ある地方・部門では、「上に政策あれば下に対策あり」で、意に沿えば執行し、意に沿わなければ執行しない。ただ一部の利益だけに配慮し、全局の利益に配慮せず、地方・部門で保護主義を行っている。

b 法規に違反し、市民の信用を失っている。

一部の政府機関・職員は、法に基づく行政を行うことができず、市民の合法的な權益に損害を与えている。官僚主義・形式主義、虚偽をつくろう問題が存在する。派手を好み、豪勢にふるまい、ほしいままに国家の財産を湯水のように使い、贅沢浪費が深刻である。

政府の執行力・信用力を高めることは、行政管理体制改革を深化させる重要目標である。職員一人一人が、不祥事の再発防止を期し、全体の奉仕者であることを改めて強く自覚し、国民本位、市民本位の行政の推進に全力を尽くすことにより、公務員倫理の確立や適正な行政執行体制の実現を図り、地方行政及び地方公務員に対する信頼の回復に努めてゆかなければならない。

1 大局意識を增強し、命令が滞りなく行き渡ることを確保する。

執行力は、政府活動の生命力である。各地域・各部門は、「全市が全体として1つにまとまる」という観念を確固として樹立し、中央の方針・政策を真剣に貫徹し、福州市の実情から出発し、創造的に活動を展開しなければならない。しかし、政策執行上は手抜きをしてはならず、ましてや各人が思い思いの事をしてはならず、命令が行き届くことを確保し、政策を断固実行しなければならない。各地方・各部門は、科学的発展観を貫徹し、全

局の利益と局部の利益、当面の発展と長期の発展の関係を正確に認識・処理し、中央のマクロ・コントロールに関する決定・手配を真剣に実施し、土地管理、資源・エネルギー節約、環境保護等の方面の要求を厳格に執行しなければならない。

2 科学的・民主的な政策決定を堅持し、政策決定の水準を高める。

政府の政策決定権限を合理的に画定し、重大事項に関する集団的決定、専門家への諮詢、パブリック・コメントの聴取、政策評価等の制度を更に健全化しなければならない。行政の内容の面における行政責任範囲および諸施策の見直し、優先順位の設定、担当主体の任務分担などの見直しに取り組む。

3 法に適切に基づいて行政を行い、社会の公正を維持する。

政府に執行力・信用力があるかどうかで最も重要なことは、「法があれば必ずこれに基づき、法を執行するときは必ず厳格に行い、違法は必ず追及する」ことができるかどうかである。せっかく法制化した諸制度も、これが適正に運用されなければ意味を成さない。行政改革についても、この運用がずさんであったため、過去、改革をしては、数年後には元の状態に戻るといふ悪循環を繰り返している。政府機関自身が採りうる対策として、日本と同様、行政制度の厳格運用をとる必要がある。行政は、法令に基づく執行・監督・監視の強化、平等な競争体制の育成、科学技術・文化の振興等に従事する。上下横の関係を定め、市、区、県各レベルでの責任と権限を明確にするべきと考える。

4 問責制度を確立し、業績・効果の評価を展開する。

政府の業績・効果の評価する内容・指標体系を科学的に確定し、科学的発展観に適応した政治業績観の樹立を促進しなければならない。虚偽報告・誇張を行い、功を焦り利に近づくこと、市民を疲弊させ財を損なうイメージ作りのプロジェクトや政治業績作りのプロジェクトには断固反対しなければならない。法令、制度、事務内容、予算執行の面における行政運営からの脱却を避ける。政府管理部門の業務範囲を明確にし、指導に止め干渉しない。

5 行政の情報公開の推進に力を入れる。

行政情報公開制度を充実させ、事務公開の諸制度を完備させ、政府活動の透明度を高め、市民が政府を効果的に監督できるような条件を作り出す。各種類の事務処理公開制度を健全なものにし、政府活動の透明性を高くし、市民の政府への信頼を高める。

第3項 市民に対し、質の高いサービスを提供する行政

2008年の行政改革は、政府職責体系を健全化し、政府機能を全面的かつ正確に全うし、サービス型政府を確立するようにしなければならない。経済の調節、市場の監督・管理を強化すると同時に、社会の管理と公共サービスにさらに気を配り、社会の公正と社会の秩序を維持し、基本的な公共サービスの均等化を促進する。業種協会、商会及びその他の社会組織としての役割の発揮を重視すると考えられる。

1 職員の意識改革の推進

市民の視点に立った行財政運営の推進を図っていくためには、経営感覚と市民へのサービス精神を涵養することが必要である。そのために、職員が行政運営に多角的に参加で

きるような体制や処遇、健康管理体制の充実等を積極的に推進する。

2 新たな人事管理システムの確立

職員が、市民の期待に応え、真に市民本位の行政サービスを提供していくためには、能力と業績に基づいた健全な競争原理を導入し、能力主義を基本とした抜本的な人事制度改革により、職員がその使命を十分に果たせる環境が必要である。そのためには、能力等級を中心として任用・給与・評価を行うとともに、人材育成が一体となった機能を有する人事管理システムを構築する。また地方公務員がそれぞれの資質・能力をますます発揮できるような人事管理を制定する必要があると考える。「公務」能率の向上・職員のモラルの維持等を図るため、「公務」労働の性格にも配慮しながら、職員が蓄積した経験や知識を含めて職員の能力・勤務実績を公正かつ客観的に評価することで、能力・実績を重視した人事管理に転換する。職員の能力や勤務実績について客観的かつ公正な評価を行い、勤務評定を昇進管理や給与等の処遇に適切に反映する。福州市政府の実情に応じて人事異動や人事評価の導入を検討すべきである。

3 政策形成能力の向上

新しい時代の流れの中で、複雑多様化する市民のニーズを的確に把握し、柔軟に対応できる幅広い視野と長期展望をもった職員の能力を育成する。また、多様化・高度化している市民のニーズや福祉、環境及び街づくり等様々な公共サービス分野での活動が重要である。社会情勢の変化に的確に対応するためには、公共サービスの提供に関する新たな役割分担を構築し、質の高い公共サービスを提供する。

行政は市民が実行不可能な部分を受け持ち、民間ができることは民間にやらせる（政企分離）。具体的には、政府による企業管理をやめ、従属関係を改め、企業を独立させる。企業の財産所有権を明確にし株式化する。国有企業にも代表者制を導入し、経営の状態を把握することである。

むすび

今回の行政改革は、「調和の取れた社会」にふさわしい行政システムへの転換を図ろうとするものであり、市民とのパートナーシップを基調に、行政のあり方を質的に変革するという意味で、これまでの行政改革とは違った重要な意義を持つものとする。

特に、人間生活と環境との共存の問題「和諧社会づくり」は、21世紀の中国地方政府にとって、最大の課題になってくるものと思われる。市民も、何でも行政に頼るという考え方を改め、自らできることは自ら行う、地域でできることは地域が担うといった自立を基本としながら、できない部分を行政と力を合わせ、知恵を出し、負担をし、協働していくという新しい自治のかたちを構築すべき時代が到来することを理解し、自ら自治の担い手として行動しなければならないことを言及しておきたい。

「福州らしさ」が輝く活力に満ちた福州市を築いていくために、いま変えるべきことを大胆に変えるという強い意思をもって行政改革に果敢に取り組んでほしい。さらに、その

取組みを市民に分かりやすく示すため、できる限り数値目標を掲げるとともに、毎年度着実に推進し、市民の期待に応えてもらいたい。職員一人ひとりの自覚と不断の改革努力を切に望むものである。

参考文献

- 1、毛桂栄（1997）「日本の行政改革」青木書店
- 2、洪英（2006）「中国の地方制度における自治問題」明石書店
- 3、日本行政学会（2001）「日本の行政学——過去、現在、未来」ぎょうせい
- 4、北京週報（2008）「2008 年中国政府活動報告」<http://japanese.beijingreview.com.cn>
- 5、北京週報（2007）「中国共産党第十七回全国代表大会における報告」
<http://japanese.beijingreview.com.cn>
- 6、日本自治体国際化協会北京事務所クレアレポート（2003）「中国の地方行政改革」
<http://www.clair.org.cn>
- 7、総務省 HP <http://www.soumu.go.jp>
- 8、福州市 HP <http://www.fuzhou.gov.cn>